

平成21年3月期 第2四半期決算説明会



平成20年11月5日 大阪
平成20年11月6日 東京

■平成21年3月期 第2四半期決算の概況

■業績予想

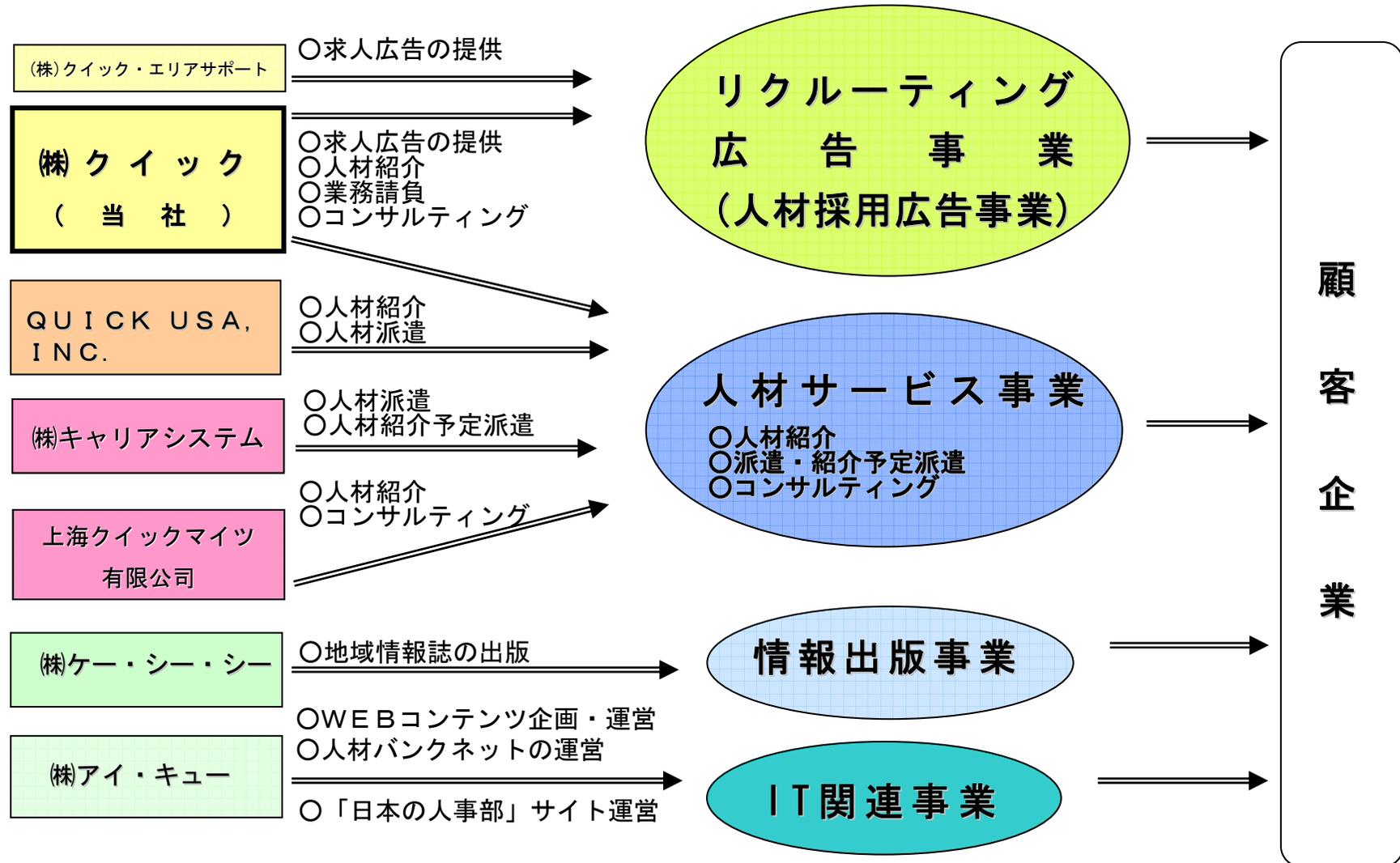
平成21年3月期 第2四半期決算の概況

1. リクルーティング広告(人材採用広告)事業における採用手法の多様化と競合商品の価格競争が進行。
2. 景況の悪化による中途採用マインドの低下と求人広告市場の縮小により、リクルーティング広告事業が大きく後退。
3. 情報出版事業の、北陸における景況悪化と競合激化による業績の伸び悩み、ブライズ事業(東京支店)の収益化の遅れ。
人材サービス事業、IT関連事業は利益面で堅調に推移したものの、上記要因により前年同期比で減収、減益となりました。

()は前年同期実績

売上高	47億21百万円 (54億31百万円)	営業利益	△1億16百万円 (△22百万円)
経常利益	△1億14百万円 (0百万円)	当期純利益	△1億69百万円 (45百万円)

事業領域・企業集団の状況



(注) 1.上記関係会社6社は、すべて連結子会社であります。

平成21年3月期 セグメント別売上高・営業利益

■売上高

(単位:千円)

	平成20年3月期 中間期	平成21年3月期 第2四半期	増減率
リクルーティング広告事業	2,138,543	1,462,456	-31.6%
人材サービス事業	1,586,536	1,695,953	6.9%
情報出版事業	1,263,615	1,175,948	-6.9%
IT関連事業	443,031	387,204	-12.6%
連結合計	5,431,726	4,721,563	-13.1%

■営業利益

(単位:千円)

	平成20年3月期 中間期	平成21年3月期 第2四半期	増減率	
リクルーティング広告事業	280,267	56,168	-80.0%	←大きく後退
人材サービス事業	△ 9,579	55,742	-	←収益化に成功
情報出版事業	△ 70,011	△ 39,307	-43.9%	←損失縮小
IT関連事業	96,435	31,599	-67.2%	←利益縮小
消去又は全社	△ 320,005	△ 220,743	-31.0%	←費用縮小
連結合計	△ 22,893	△ 116,540	-	←大きく後退

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております

セグメント別の状況(1)

リクルーティング広告(人材採用広告)事業

売上高1,462百万円(前年同期比31.6%減)、営業利益56百万円(同80.0%減)

- ・景気後退感の強まりによる企業の人件費抑制傾向の進行、採用意欲の減退が求人広告の出稿に影響。
- ・自社、競合を問わず、顧客企業による低価格商品への出稿傾向が強まる。
- ・主力商品の商品力低下、大手人材ビジネス系顧客をはじめとした受注の減少。

情報出版事業

売上高1,175百万円(前年同期比6.9%減)、営業損失39百万円(前年同期より30百万円損失縮小)

- ・北陸各地域の生活情報誌、結婚情報誌ほか、自社運営サイトのリニューアルを継続的に行うも、景況の悪化、競合状況の熾烈化、東京支店の収益化の遅れにより苦戦が続く。
- ・各媒体の原価圧縮、人員の見直し等による経費節減策の実施。

IT関連事業

売上高387百万円(前年同期比12.6%減)、営業利益31百万円(同67.2%減)

- ・「日本の人事部」サイトがPV数の伸びを背景に売上が前年同期比167%の成長。会員数も25,000人目前に。
- ・「人材バンクネット」は登録者拡大のための機能開発の成果が実り新規会員は累計35万人を突破するも、求人市場の冷え込みに伴い人材紹介会社の投資意欲に翳り。売上は前年同期に届かず。
- ・エリア強化のため、9月1日名古屋営業所を開設。

※情報量の関係上、情報出版事業、IT関連事業を先に表記しております。

セグメント別の状況(2)

人材サービス事業

売上高は1,695百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は55百万円(前年同期は営業損失△9百万円)

人材紹介事業

- ・自社運営サイト「転職×天職」のコンテンツ充実、プロモーション強化により、転職希望登録者数(エントリー数)が前年同期比145.7%、アクセス数は前年同期比251.3%と順調に成長。
- ・自社運営サイトの戦略化の一環として「関西の会社ナビ メーカー編」をオープン。
- ・キャリアコンサルタントの育成が成果となって表れ始め、売上に貢献。
- ・新卒社員を含めた人員増による人件費の増加。
- ・世界的金融経済の混乱から金融業界のほか、製造業、サービス業に至るまで全般的に採用縮小傾向に。

人材派遣事業

- ・東海地域におけるIT周辺業務の一般派遣が堅調に推移。
- ・派遣業界に対するネガティブイメージが広がり、派遣スタッフの獲得がこれまで以上に困難な中、原価率の改善等に取り組み生産性が向上。

海外事業

- ・QUICK USA,INC.は、昨年から続く就労ビザ取得困難な状況が企業の派遣ニーズを後押しし、順調に成長。LAオフィスの一般派遣・人材紹介サービスも軌道に乗りつつある。
- ・Quick Job Fair in New York (海外留学生のための会社説明会)を2008年9月に開催。参加企業は23社、来場者は約400名と盛況 (クイック リクルーティング事業本部と連携)
- ・上海クイックマイツ有限公司は人事コンサルティング業務が新規顧客開拓を含め順調に成長。
- ・中国河東地域(上海)の日系企業の「給与調査報告書2008※」の評価も上々。専門販売チームを設置し、PR強化に取り組む。 ※158社の福利厚生データと152社の10,000名を超える給与データを集計。

平成21年3月期 第2四半期 貸借対照表の概要

科目			(単位：百万円)
	(平成19年9月30日現在)	(平成20年9月30日現在)	増減
(資産の部)			
流動資産	2,406	2,415	8
固定資産	1,529	1,320	△ 209
資産合計	3,936	3,736	△ 200
(負債の部)			
流動負債	1,601	1,317	△ 283
固定負債	84	220	135
負債合計	1,686	1,538	△ 148
(純資産の部)			
資本金	350	351	0
資本剰余金	271	271	0
利益剰余金	1,681	1,569	△ 112
自己株式	△ 69	△ 1	68
株主資本合計	2,234	2,190	△ 43
その他有価証券評価差額金	1	0	△ 0
為替換算調整勘定	5	△ 3	△ 9
評価・換算差額等合計	7	△ 2	△ 9
少数株主持分	9	10	1
純資産合計	2,250	2,198	△ 51
負債、純資産合計	3,936	3,736	△ 200

- ・建物及び構築物 △25
- ・繰延税金資産 △40
- ・長期性預金 △100

- ・買掛金の減少 △212
- ・賞与引当金 △29
- ・未払法人税等 △27

- ・長期借入金の増加 192
- ・退職給付引当金 △71

- ・自己資本比率:58.6%
(前年同期比+1.8ポイント)

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

平成21年3月期 第2四半期 損益計算書の概要

(単位:百万円)

	平成20年3月期 中間期	平成21年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	5,431	4,721	△ 710	-13.1%
売上総利益	2,425	2,240	△ 185	-7.6%
販売管理費	2,448	2,356	△ 91	-3.7%
営業利益	△ 22	△ 116	△ 93	-
営業外収益	28	5	△ 22	-78.9%
営業外費用	5	3	△ 1	-33.0%
経常利益	0	△ 114	△ 114	-
特別利益	119	3	△ 115	-96.8%
特別損失	15	6	△ 8	-54.8%
税金等調整前利益	104	△ 117	△ 221	-
第2四半期(中間)純利益	45	△ 169	△ 215	-

前年同期比
 ・リクルーティング広告事業 △676
 ・人材サービス事業 +109
 ・情報出版事業 △87
 ・IT関連事業 △55

前年同期比
 ・人件費 +15
 ・旅費・通勤交通費 △8
 ・広告宣伝費 △31
 ・消耗品費 △18
 ・採用費 △20
 (合計 △63)

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

平成21年3月期 第2四半期 キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

科目	平成20年3月期 中間期	平成21年3月期 第2四半期
営業活動によるCF	△ 279	△ 163
投資活動によるCF	△ 189	△ 24
財務活動によるCF	△ 96	199
現金及び現金同等物の 第2四半期末(中間期末)残高	934	1,047

前年同期比116百万円減少

前年同期比165百万円減少

前年同期比295百万円増加

(単位:百万円)

■ 営業活動によるCFの主な増減要因

・税金等調整前利益	104	△ 117
・減価償却費+のれん償却額	70	53
・売上債権の減少額	247	209
・仕入債務の減少額	△ 146	△ 168
・法人税等の支払額	△ 247	△ 64

■ 投資活動によるCFの主な増減要因

・定期預金の預入	△ 100	0
・投資有価証券の取得	△ 57	△ 1
・有形固定資産の取得	△ 28	△ 4
・無形固定資産の取得	△ 53	△ 17

■ 財務活動によるCFの主な増減要因

・短期借入金の増加額	58	46
・長期借入れによる収入	0	240
・長期借入金の返済	△ 69	0
・配当金の支払額	△ 85	△ 85

業績予想

今期(平成21年3月期)連結業績予想

第2四半期累計期間(上半期)

	[前期実績]	[今期修正予想]	[今期実績]	(単位:百万円)
	平成20年3月期 上半期	平成21年3月期 上半期修正予想	平成21年3月期 上半期	前年同期比
売上高	5,431	4,700	4,721	86.9%
営業利益	△ 22	△ 161	△ 116	-
経常利益	0	△ 160	△ 114	-
四半期純利益	45	△ 192	△ 169	-
1株配当金(円)	2.50	2.00	2.00	0.50円減

前年同期実績を下回るも、
上半期実績は、
9/10発表の修正予想を
上回る結果になりました。

下半期(参考)

	[前期実績]	[今期予想]	(単位:百万円)
	平成20年3月期 下半期	平成21年3月期 下半期	前年同期比
売上高	6,003	5,278	87.9%
営業利益	389	189	48.6%
経常利益	400	194	48.5%
四半期純利益	259	109	42.1%
1株配当金(円)	4.50	2.00	2.50円減

例年、新卒商品がスタートする
第3四半期の業績が1年を通じて
最も好業績となっています。

通期

	[前期実績]	[今期予想]	(単位:百万円)
	平成20年3月期 通期	平成21年3月期 通期	前年同期比
売上高	11,435	10,000	87.5%
営業利益	366	73	19.9%
経常利益	400	80	20.0%
当期純利益	305	△ 60	-19.7%
1株配当金(円)	7.00	4.00	3.00円減

上半期の実績は修正予想と比較して、
損失額は減少しましたが、
不透明な景気動向を勘案し、
業績見通しの変更は行いません。

※平成21年3月期 下半期及び通期予想は、修正後のものになります

下期の事業別取り組み(1)

リクルーティング広告(人材採用広告)事業

- ・正社員領域の商品に関する営業力強化(組織の見直し、採用・営業ノウハウの共有、人材教育など)
- ・新商品 採用マーケティングサーベイ『Entry9』(エントリーナイン)をはじめ、自社商品(ハタラク、Job Fair等)を活用した競合との差別化の推進、多様化・複雑化する顧客のニーズに対応した採用ソリューションを提供
- ・採用ソリューション、採用媒体提案、新商品の開発・販売企画の3分野で、各々に特化した営業を展開するため
平成20年10月1日、東日本事業本部を組織変更

人材サービス事業

人材紹介事業

- ・自社運営サイト「転職×天職」、「関西の会社ナビ メーカー編」の戦略的強化の継続により、転職意識の高い登録者数の増加を目指す
- ・リクルーティング広告事業とのコラボレーション等、グループ内のシナジーを活用した営業力・生産性の向上

人材派遣事業

- ・各拠点にて紹介予定派遣を含む、人材紹介サービスを強化
- ・自社運営サイト「北陸×転職.net」の充実による転職希望登録者の確保

海外事業

- ・アメリカ…国際人材の掘り起こしと共に米系企業へのアプローチや専門職などの新規マーケット開拓
- ・上海…相談顧問サービスを中心とした人事コンサルティングサービスの充実に加え、人材紹介サービス、「給与調査報告書」の販売にも注力

下期の事業別の取り組み(2)

情報出版事業

- ・北陸3県及び新潟県にてスタートした「エリアブログ」を起点として、「サンロクゴ」をはじめとした自社運営WEB商品の早期収益化を目指す
- ・「ジョブフェスタ」の各県展開など、より顧客・ユーザーのニーズに対応した商品提案、企画立案など地域密着型のソリューション営業を推進

IT関連事業

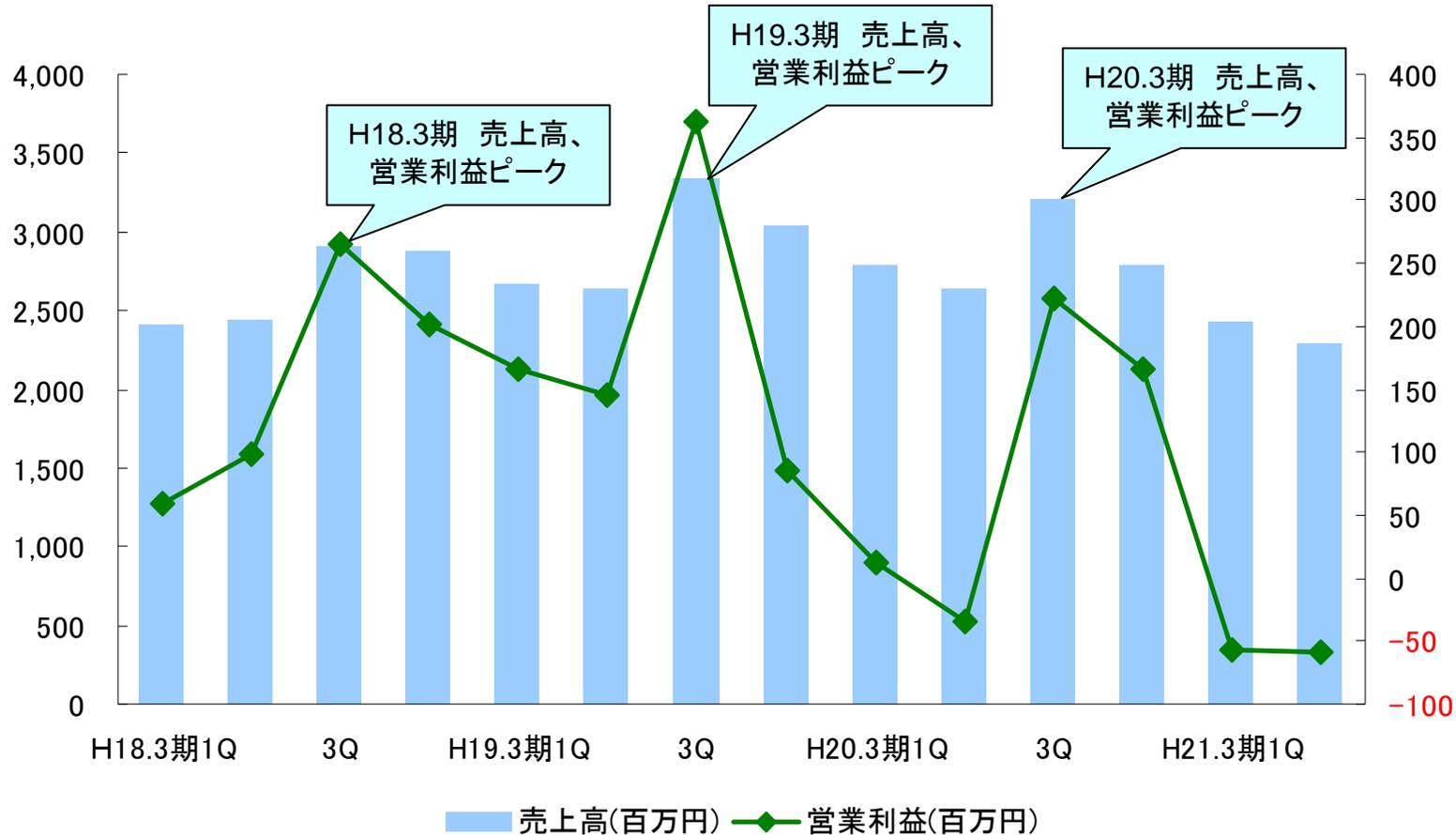
- ・「人材バンクネット」、「日本の人事部」に関しては、人材紹介各社のニーズに対応した新サービスの開発・提案、登録者拡大に向けた取り組みにより、競合との差別化を図る
- ・従来のサイト運営に加え、新たなサービスの企画・提案

その他

- ・今後の経営環境の変化に対応できる機動的な資本政策の遂行に向け、自己株式の取得を継続
- 【現在の取得状況】
- ・取得株式数: 15,000株(上限350,000株、発行済株式総数に占める割合1.83%)
 - ・取得総額: 1,276,000円(上限50,000,000円)
 - ・自己株式取得の日程: 平成20年9月16日～平成21年3月31日

クイックグループの業績推移の傾向

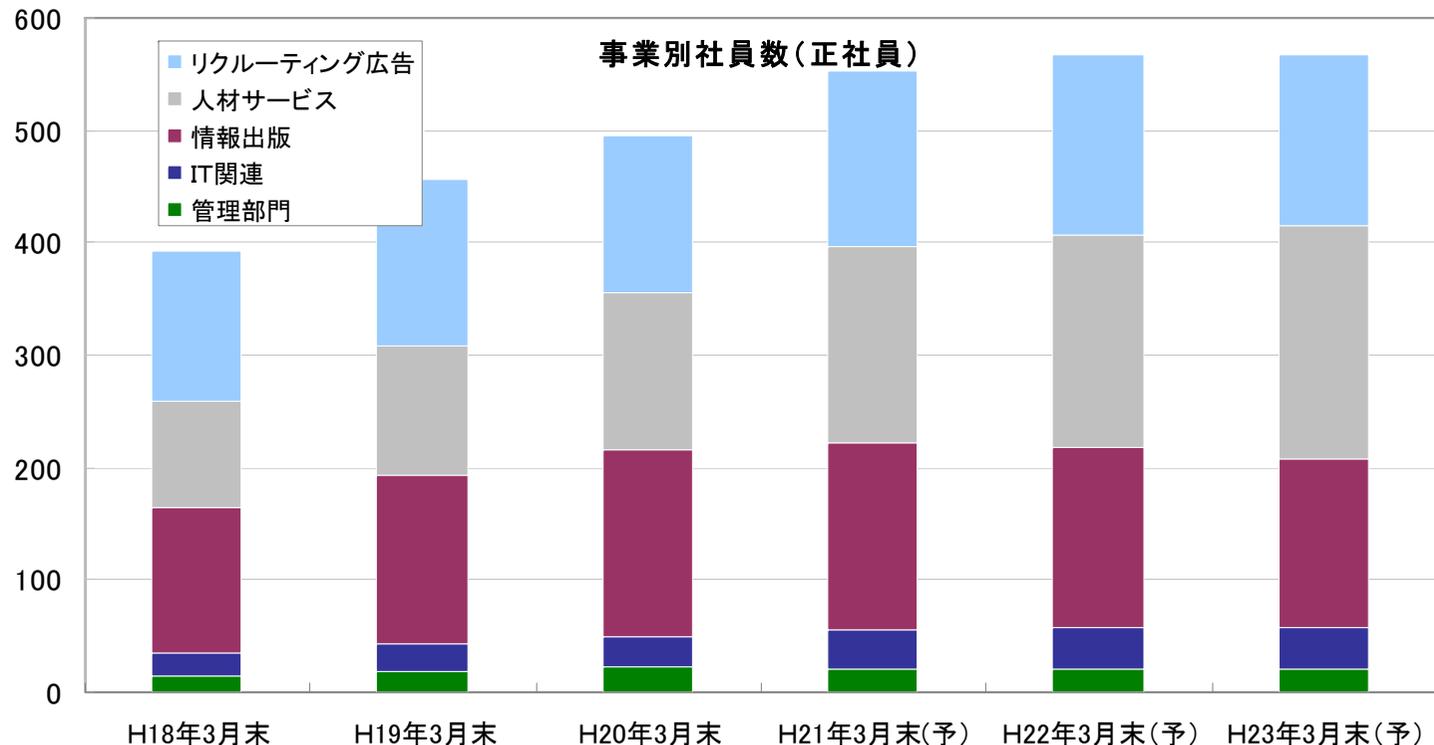
■ 四半期ごとの業績推移



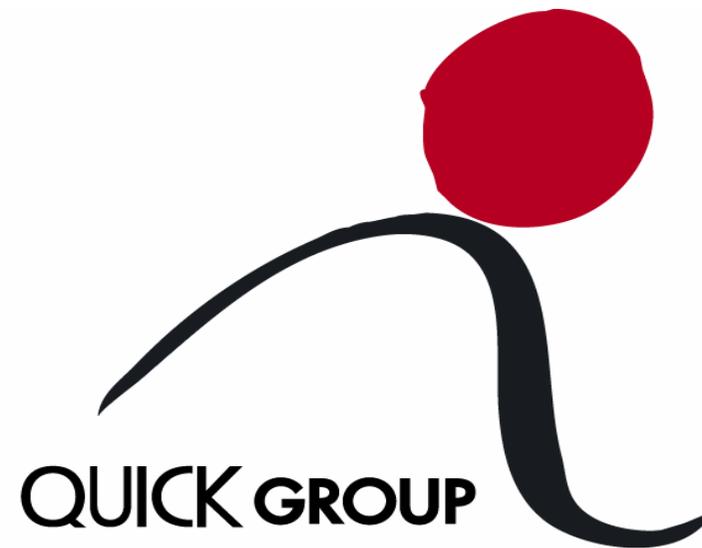
売上高・営業利益ともに第3四半期がピークとなる事業モデル

今後の人員計画について

(単位:人)



	【実績】			【計画】		(単位:人)	
	H18年3月末	H19年3月末	H20年3月末	H21年3月末	前期末比	H22年3月末	H23年3月末
リクルーティング広告	134	149	141	156	15	160	151
人材サービス	95	115	139	174	35	189	208
情報出版	130	150	166	166	0	161	151
IT関連	19	24	27	36	9	37	37
管理部門	15	19	23	20	△ 3	20	20
連結計(正社員)	393	457	496	552	56	568	568
臨時雇用者を含む合計	503	584	621	655	34	667	667



この配付資料に記載されている業績目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知下さい。